

加工・業務用野菜取組事例 ⑫

調査日(更新日)	平成26年12月12日(平成一年一月一日)
----------	-----------------------

1. 事業者基本情報	
事業者名	(株)サンライズ西条加工センター
代表者名	代表取締役 西本麗
所在地	(本社)愛媛県西条市神拝甲150-1(西条市産業情報支援センター) (工場) " ひうち3-17
連絡先	(本社)TEL:0897-47-8230 FAX:0897-47-8231
ホームページ	http://www.sunrise-saijo.co.jp/
連絡先担当者	経営企画部 主任 曾我部ひとみ

2. 経営の概要	
経営形態	株式会社
事業概要・取扱商品	カット野菜、ホール野菜 ※平成26年11月から稼働のため、現在は一次加工(皮むき、芯抜き等)を中心に行っている。徐々に二次加工、カットサラダ等にも取り組む予定。
販売額	10億円(平成30年目標)
労働力・構成員	従業員42~43名(うちパート32~33名) うち加工部門従業員34名(うちパート30名)
生産・加工施設	カット野菜工場 建坪300坪(延べ400坪強) ※HACCP基準を満たした衛生管理システム
経営の推移と取組のきっかけ	<p>住友化学(株)米倉会長(現相談役)が、経団連会長時代に打ち出した「未来都市モデルプロジェクト~西条農業革新都市~」が取組のきっかけ。平成23年8月に生産面での課題に取り組む主体として「サンライズファーム西条」を設立。その2年半後の平成26年2月に、生産の出口(売先)面をケアするため、当センター「(株)サンライズ西条加工センター」を設立した。</p> <p>また、住友化学(株)が、衰退した日本の農業に真摯に取り組む、地域における成功モデルを作りたいと考えたのも一つのきっかけ。生産を行うためには、出口を確保することが重要と考え、全国で7つあるファームのうち、今回初めて、加工センターに取り組んだ。今回うまくいけば、他のファームでも取り組むことを検討している。</p> <p>出資者は住友化学(株)を中心に、(株)高瀬運送、ヤマエ久野(株)、西条市農業協同組合、(株)西条産業情報支援センター、(株)伊予銀行。</p> <p>平成26年4月1日に事務所立ち上げ。8月に加工工場着工、10月に加工工場竣工、11月に稼働を開始した。</p>

3. 加工・業務用野菜の取組概要

原料入荷関係 (時期・産地・量)	11月から稼働のため、現段階では、カット野菜の下処理が中心で、ホールで出荷している。惣菜の下処理用、加熱用など、今後、高次の加工に取り組んでいく予定。現在は、たまねぎ、キャベツが中心。たまねぎは、北海道産、淡路産が中心。
主な出荷先	四国、関西、中国、九州エリアの加工業、飲食店、スーパー、弁当屋、惣菜屋等。現在は、愛媛県、香川県、大阪府、兵庫県、佐賀県などを中心に出荷している。今後は、四国の主要都市を中心に、山陽の主要都市、京阪神、九州に出荷する計画である。
販売額	10億円(平成30年目標)
出荷先からのニーズ	11月から稼働しているが、(株)伊予銀行等からの紹介で、取引が増えている。既に365日稼働する体制に入っており、毎日8時から18時まで稼働し、出荷を行っている。
その他特徴的な事項等	産地とつながり、一体的に取り組んでいる。 殺菌力の高い微酸性電解水を洗浄水として使用している。 また、世界初の鮮度保持技術である「iRフレッシュャー(近赤外光を活用した鮮度保持機械)」を導入し、数秒～数十秒間、近赤外光を照射することにより蒸散(水分の減少)を抑制し、しおれや傷みを低減し、みずみずしさやツヤを維持させている。
取組の成果	HACCP基準を満たしたカット野菜工場で、産地で収穫された良質な農産物をパッキング・加工することで付加価値を高め、それにより産地づくりや6次産業化へ貢献する。
今後の展開	たまねぎ、キャベツの他、にんじん、だいこん、かぼちゃ、さといも、ピーマン等需要の高いものを中心に取扱いを行う予定。 地元のものにこだわり、地産地消を目指しながら、産業給食にも取組たい。 大型の定植機や収穫機を導入し、生産者に貸し付けたり、場合によっては、当社が収穫を受託する契約についても検討している。
生産者や産地に対する要望等	JA西条における産地の育成をはじめ、(株)サンライズファーム西条での生産(現在、レタス:10ha、キャベツ:2ha)を増やしていく。現状は、個人との契約は行っていないが、量と価格が合えば今後検討していきたい。 また、四国に限らず、岡山県、広島県、山口県でも、一定量揃い、価格が折り合えば、出荷経路以外でも取引は可能と考える。 運送料のコスト低減のため、出荷を行ったトラックが空荷で帰ることがないように、製品出荷の復路周辺の産地との取引であれば都合がよい。
事業者からひと言	安全かつ信頼性の高いカット野菜などを生産し、食品加工工場や外食産業、さらには一般消費者のニーズを満たすとともに、産地形成や6次産業化への貢献を図り、地域農業活性化の起爆剤としての役割を果たしていきたい。

